

詳細解説  
動画広告  
訴求方法

# 一方通行の広告から 深く理解させるための 手法を導入して、 効果ある広報にする。

読ませて、見せて、ユーザーの理解力に頼る広報から、  
積極的に説明し、説得し、理解させる広報へ。  
斬新で、これまでにない広告手法をご案内。

ASK SINCE1980 ADVERTISING Inc.,  
アスクアドバタイジング株式会社

# 広告がユーザーまで届かない！ 実態に合わせた、広告手段が必要。

企業や団体が、事業のため、利用促進のためにと、理解して欲しい内容をアピールするために広告を実施してきました。その多くは新聞、雑誌、テレビなどの媒体広告と、パンフレットやDMなどの紙媒体によるものでした。こうした広告事情に、近年では大きな変化が表れました。



かつての情報源は



時代を越えてネットに



ユーザーの文字離れや、常時必要な情報が得られないストレスから、現在はネットによるリアルタイムでの情報取得が常に可能になるという、大量情報の時代を迎えています。今、最も効果のある広告ツールは、ネット環境の充実もあって、間違いなく「動画」といえます。(真実は次頁)人の理解を促すには、これまでの読ませる、見せるという方法ではなく、次の段階となる、視聴させる「動画広告」が主流となっています。2024年、

すでに広告費で4媒体(新聞・雑誌・テレビ・ラジオ) 30.4%、インターネットが47.6%と逆転しています。(電通調べ)動画広告は、視聴者本人の理解力に依存せず、積極的に動画で、目前で説得することが可能なのです。

# 効果的な動画の中でも、 何故、キャラクター動画広告が？

なぜ、動画広告がこれまでの広告戦略と比較して効果的なのでしょうか？メラビアンの法則によって解明できます。人が受け取る情報のうち、文字情報は7%、視覚による情報は55%であり、

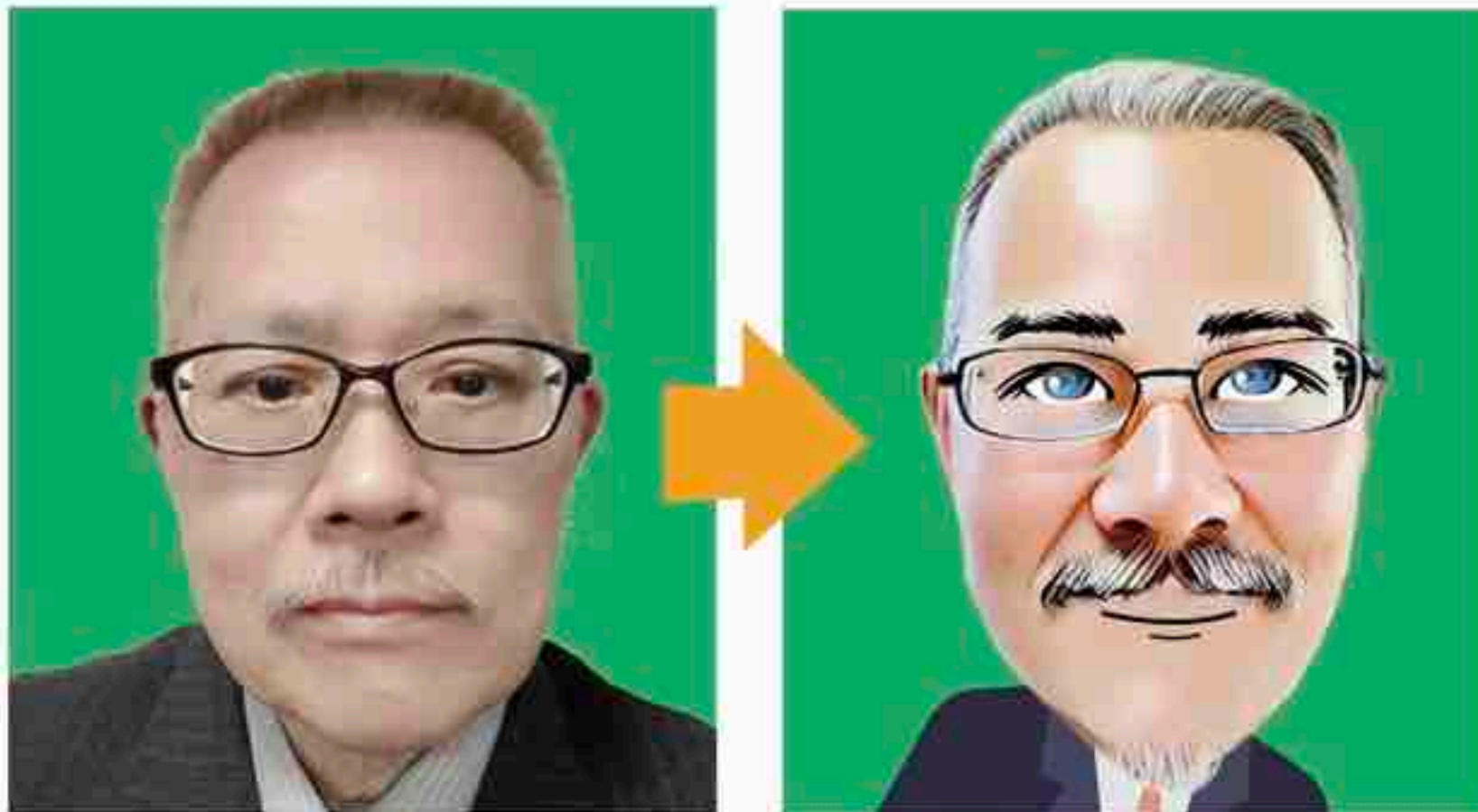


今までの新聞・雑誌、パンフは、この合計62%でした。動画広告は「動く」視覚情報に聴覚情報が加わり、情報の量を大きく上げました。1分の動画で180万語の情報量になるとも言われています。ゆえに、訴求力があり、理解を促す手法として効果的です。その動画の中でも、<sup>※</sup>キャラクターは情報やイメージを伝えやすく、企業イメージ、商品イメージに適したキャラクターを選択すれば、市場への訴求には、大きな効果があります。現在の広告の多くに、キャラクターを使ったCMなどが、かなりの確率で実施されていることを見れば「その効果は絶大である」ということの証明ではないでしょうか。

※キャラクター＝広義ではタレント、著名な人物、制作されたアニメキャラ

# キャラクターはどう選択する？ リスクなく、最大効果を狙うには。

動画広告のキャラクターには、絶対的な注視効果が必要です。それは誰もが知る著名人だったり、タレント、話題のキャラであったりします。しかしながら、このようなキャラクターを起用するには契約料や出演料等、高額な費用と、交渉が必要です。そこで企画されたのが、**実在の人物の分身をキャラクター化させる手法です。それをアバターとしました。**アバターは、企業の代表や、事業責任者、広報担当者などで意味ある人選です。必然的にメッセージに説得力があり、社内外で人物を知る人には、大きなアピールとなり、知らない人には紹介となります。実際の人物をキャラクターにするのなら、AIでもいいのでは？と思われそうですが、あえて実像に近いAIは使いません。それは、AIの動きは本人を越えることがなく、注視効果を得られません。大きなオーバーアクションの表情が本物より豊かなアバターだからこそ、多くのユーザーの強い注目が得られるのです。



実写 (AI)

アバター

実写とアバターが説明する、どちらの話を知りたいですか？  
実写は日常で、アバターは非日常、非日常の方が魅力的です。

## アバター動画広告には、 どのような優位性があるのか？

キャラクター動画広告には、大別して実写(AI も含まれます)による表現、アニメキャラクターに類する表現があります。実写、あるいは同様の動きをするAIアバター動画の場合では、仮に社長ご本人が、企業イメージや商品案内をした時、そこに注視効果は生まれるでしょうか？ご本人でもAIでも、熱心に説明する動画であっても、見続けてもらうためには、かなりのエンターテインメント能力が必要、実写は面白くないのです。アニメキャラではどうでしょうか？これは制作に長い時間と経費が必要となり、その選定にも複数の候補の中から、社内で検討の必要もあり、かなりの紆余曲折が予想されます。またキャラクターの、市場への浸透にも時間を要します。

弊社の作成するアバター動画広告は、実写とアニメキャラの中庸をいくものです。本人に似せて作られ、本人ならではの存在感(全くの想像キャラも可能です)を有し、社内外や市場への説得力があります。キャラ選定にも時間や経費が掛からず、実写(AI でも)では出来ない、注目を引くオーバーアクションで、アニメキャラのように豊かな表現が可能です。これにより注視効果は群を抜きます。眉や目、リップシンクなど、大きな動きが自然と表現出来て、アニメキャラの優位性を持ちます。編集では、アバターの説明する内容に沿って、タイトルはもとより、実写動画やフローやグラフ、図面などの資料も、弊社はデザイン会社であり、レベルの高いグラフィックが可能です。動画の下部にはお話に合わせて、文字テロップも流れ、理解を後押しします。

アバター動画広告サンプルで、その動きをご覧ください。

## 積極的に解説するアバターが、 受け身のユーザーに情報を投下！

アバターは、一過性の広告素材ではなく、その後も企業や団体を代表して、動画の続編やシリーズ化に「会社の専属タレント」として、順次登場させられます。アバターを一度制作すれば、その後のアバター制作費用は必要ありません。

ご本人の分身としてアバターは存在します。基本的に「みなさん、こんにちは。(社名や部署)の誰々と申します。」という自己紹介から始まります。ここで、通常のキャラ動画とは違う！という印象になります。そのアバターが会社や製品などの紹介をしていきます。通常の広告のように、ユーザーの理解力に依存するのではなく、積極的に説明・説得をして注視効果に溢れたアバターが、澁みない語りで情報を浸透させていきます。



このアバターは、もちろん実写のように何度も撮影することなく、コメントもAIが滑舌よく話します。アニメーションのように、都度作り上げる時間も経費も不要で(アニメ制作は高額)眉や目、唇もアバター制作時に21レイヤーもの工程で、実像にはない豊かな表情を作り上げます。表情はモーショキャプチャーで動かすため、アニメの煩雑さもなく、安価制作を可能にしています。当然、弊社を上回る高度なアバターを制作する動画制作会社も存在しますが、当社は動画制作会社ではなく、情報を広める広告制作会社です。アバターの完成度を目的とせず、極力制作費を抑えて、より良い広告を実現するために制作しています。

# アバター動画にご用意頂くのは、 写真1枚と広告方針だけの簡便さ。

会社や組織、商業施設、団体を代表して案内するために生まれたアバターは、自社の方針を受け継いで、会社にもストレスをかけず、次々に展開していきます。たとえ社長であっても、多忙な担当者であっても、作成されるアバター動画の方針さえご指示頂き、そのための資料が揃えば(弊社で収集する場合も)、短時間でアバター制作、広告方針に基づいたシナリオ制作、校正後に音声入力(AI)、編集へと進んでいきます。(制作工程の詳細は10Pに)

要するに動画広告制作において、出演したり、コメントを間違いなく読む準備も不要で、全て丸投げして頂けます。いかにご多忙の社長であっても、ご逝去された先代の創業者であってもアバターが作れます。正面のお写真1枚と、広告方針とその資料さえあれば、生き生きとしたアバター動画が誕生します。販売促進広告を45年制作してきたノウハウにより、動画を広告レベルに引き上げて、アバターの制作はもちろん、動画の構成、シナリオ、編集まで一貫した制作が可能です。



# アバター動画広告の優位性、 「展示会」でその能力を発揮する!

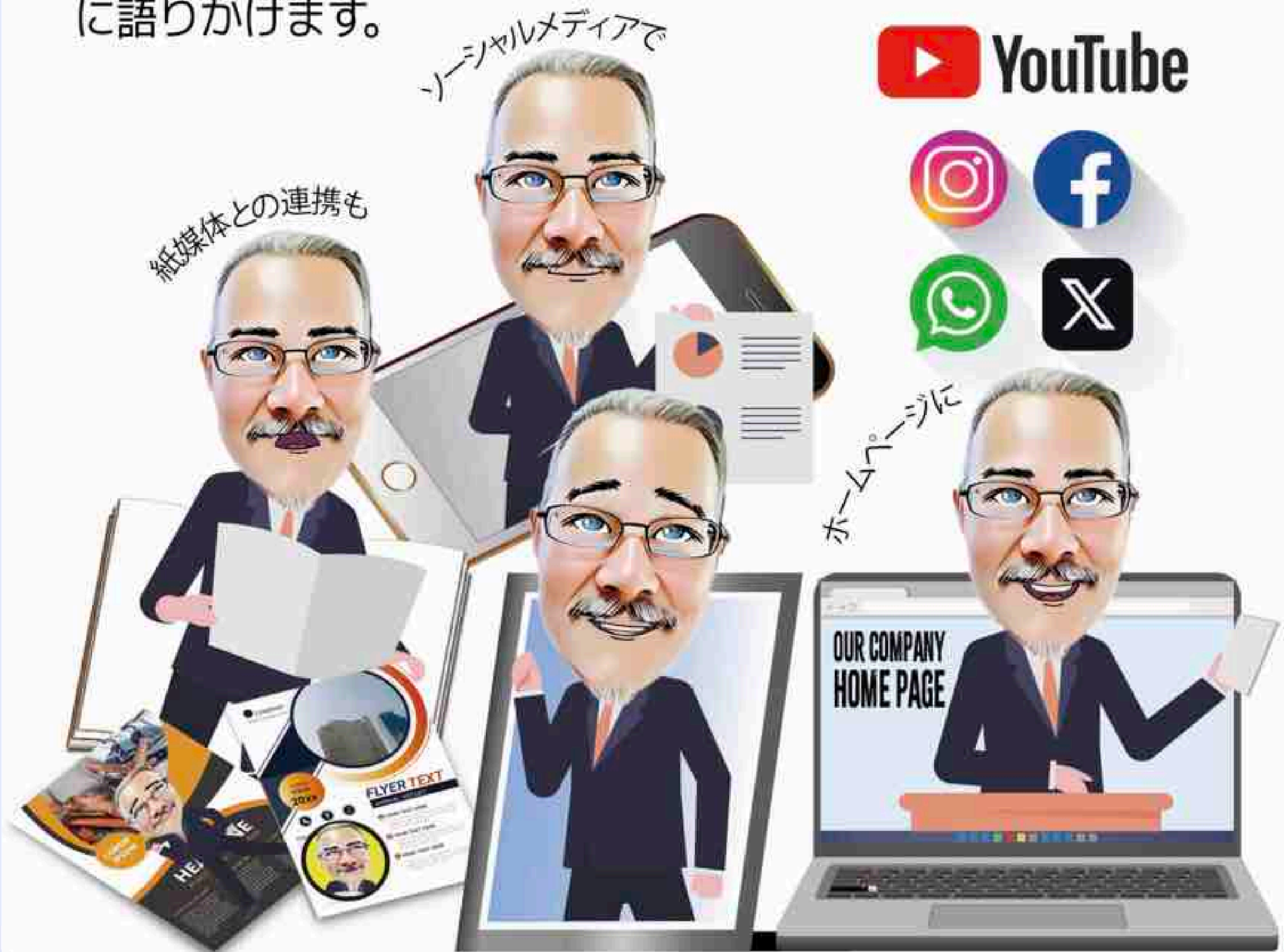
アバター動画広告が、速攻で活躍できる場所は、企業にとっては事業拡大、新たな取引先の獲得の場となる重要な「展示会」が、公開する場面として、かなり有効に働きます。

現在の展示会では、製品紹介の動画や、システム案内のパネルなどが主流ですが、ここでアバターが説明や解説をする動画は、展示会において、他社にはない注目を浴びることになります。淡々と製品紹介するだけの動画や、読み込まないと理解が難しいパネルに替わり、アバターは「丁寧に内容を説明する」ことができるからです。人が最も理解できるのは、誰かに説得、説明されることです。展示会なら興味を持って見回られる会社や個人が多いため、大きな効果が実現できます。



# さらにデジタル環境では、 活動シーンを大きく拡大させる！

YouTubeなどのデジタルメディアへ、無料でオリジナルアバターを登場させ、積極的に企業イメージや商品情報を、動き、話し、説明します。紙媒体より、はるかに説得力があります。さらに、御社の既存ホームページでアバターが活動します。動画や、カットでこれまで以上に、情報を明確にユーザーに、理解して頂くことが可能になります。また、クライアント宛に動画を送信したりと、様々なデジタル展開が可能です。これまでの紙媒体を中心とした、アナログメディアにも、アバターがイメージカットとして登場し、総合的な訴求効果を狙います。アバター動画は、動画配信できるところならどこでも、サインエージ電子看板や、製品横のモニターでも、動いてユーザーに語りかけます。



# 重視される企業ロゴマーク、 企業の顔に、アバターを加えると？

※ロゴマーク=企業を視覚化したシンボルとマーク化した文字の組合せ

これまで、企業の顔といえば C.I. 戦略 (Corporate Identity) が市場を席卷したように、ロゴマークが重視されてきました。このロゴマークを企業の旗印として、対外的に、また社内の結束を誘うシンボルとして、多くの企業や団体組織などで使われています。製品へのブランドマークはもとより、会社のアプリケーションや車両、広報の印刷物、制服制帽に至るまで、企業ブランディングを確立するために活躍してきました。そして現在、この旗印とともに、パーソナリティの表現として、アバターをもう一つの顔とすることで、より一層に企業

の性格を表明することが可能となります。アバターは企業の分身、その一挙手一投足が企業イメージ、商品イメージを拡げていきます。明るく、活動的に、論理的に代弁する存在ですから、必然的に企業や団体のイメージ確立に大きな役目を果たします。



また企業だけでなく、個性を重視するアバター動画が有効な、政治団体、公共施設、商業施設、医院、店舗など、さらに内容が難しい役所、病院、寺院など、多くの場所で活躍します。

11P に、弊社サイトでのサンプル動画視聴案内がありますので、ご参考に。

# アバター動画広告の制作は、 このような確かなシステムで進行。

## 1 アバター動画を、販促にどう活かすのか企画します。



全ての広告・広報で「アバター動画」が、適切に機能するわけではありません。御社の求められる成果を伺い、果たしてアバター動画が貢献できるかどうかを考慮します。

企業イメージの確立、商品やサービスの情報提供、アバター動画を活かすための企画をします。

## 2 アバターとなる人材を選出し、ラフデザインを作成。



企業や組織を代表する方、あるいは実在しなくても（候補提出も可）理想となれる方を選出して頂き、実際にアバターラフデザインを制作致します。この際、ご本人様を強くイメージできる正面のお写真を、1、2枚ご提出頂ければ制作可能です。ご了解を頂いた後、アバター制作に入ります。

## 3 アバター動画のストーリーを企画し、シナリオを作ります。



①で取材した御社の成果を達成するための、動画の骨子を作っていきます。アバターがどのように話し、説明するのかを決めていきます。シナリオを作成します。

ここで、御社ロゴを入れたタイトル、説明に必要な写真や、グラフィック等も検討していきます。

## 4 動く、個性的なアバターを作ります。



②で決定したアバターが、実際に動くように作り上げていきます。選出の人物のイメージを残し、キャラクターならではの表情を作ります。AIとは違う、豊かな表情が出せるようにすることで、ユーザーの心を掴めるようにします。眼や眉、唇などおよそ 21 のレイヤーを駆使し、一人のアバターが出来上がります。

表情などは内容に合わせて、モーションキャプチャーでコントロールします。声は、アバターに合わせますが、ご本人の音声があれば、クローン音声を作ることも可能です。

作成されたアバターは、今後は専属タレントのように、様々な販促のシーンで活動します。

## 5 素材を編集し、アバター動画を完成させます。



アバターの動きと音声データを中心に、デザインタイトルを入れたり、必要な説明テロップを入れたり、著作権フリーのBGMやイメージ動画などを使って、1本のアバター動画を編集していきます。業界や、ハリウッドでも使われる編集ソフトを使います。

# 販促を牽引する広告手段獲得、導入に値するものか、検証する。

アバター動画広告がどのように動き話すのか、当社サイトでご確認ください。

<p>話題のキャラクターアバターが解説!</p> <p><b>アバター動画広告の、凄く効果を知って下さい!</b></p> <p>営業する企業への次の戦略 私に、7分の時間をください。</p>	<p>話題のキャラクターアバターが解説!</p> <p><b>動画広告に必要なのは、こんなキャラだったのか!</b></p> <p>営業する企業への次の戦略 私に、3分の時間をください。</p>	<p>話題のキャラクターアバターが解説!</p> <p><b>話して理解してもらう、これが最も解り易い広報。</b></p> <p>営業する企業への次の戦略 私に、2分の時間をください。</p>
<p>誰も見たことない、大山総裁の伝説</p> <p><b>大山総裁には、こんな凄く読書術があった。</b></p> <p>大山総裁アバターがお話する 大山倍達総裁との珠玉の時間に、熱い魂が溢れていたことを知る。</p>	<p>誰も見たことない、大山総裁の伝説</p> <p><b>大山総裁の軍手は、私の手と心を温めた。</b></p> <p>大山総裁アバターがお話する 大山倍達総裁との珠玉の時間に、熱い魂が溢れていたことを知る。</p>	<p>話題のキャラクターアバターが解説!</p> <p><b>大切な人を失った時に、手元で納骨、寺院供養へも。</b></p> <p>寺院仏具常楽家で手元供養 私に、9分の時間をください。</p>
<p>たとえ遺骨になっても、離れたくない方が選ぶ方法</p> <p><b>寂しすぎるわ、もう少し一緒に居させて。</b></p> <p>他に無い!ここだけの本物情報 常識的な故人の扱い方を超越して、遺族へ寄り添う、寺院仏具会社の提案!</p>	<p>たとえ遺骨になっても、離れたくない方が選ぶ方法</p> <p><b>自分が死んだら、無縁仏にはなりたくない。</b></p> <p>他に無い!ここだけの本物情報 常識的な故人の扱い方を超越して、遺族へ寄り添う、寺院仏具会社の提案!</p>	<p>たとえ遺骨になっても、離れたくない方が選ぶ方法</p> <p><b>私が逝くまでは、おじいちゃん、一緒ね。</b></p> <p>他に無い!ここだけの本物情報 常識的な故人の扱い方を超越して、遺族へ寄り添う、寺院仏具会社の提案!</p>

さまざまな悲しみに寄り添うお仏壇

**常楽壇**

**アバター動画広告ホームページへ**

ホームページで、アバター動画広告の説明と共に、制作例をサンプルとして、ご案内をしております。

HomePage : <https://askad.jp>



**メールでお問い合わせ**  
左記 OR コードからお気軽にメールで、お問い合わせください。



**お電話でお問い合わせ**  
左記 OR コードからお気軽にお電話で、お問い合わせください。

 **ASK** ADVERTISING Inc.,  
アスクアドバタイジング有限会社  
〒432-8011 静岡県浜松市中央区城北3-3-34

I THINK THAT YOU SHOULD FORMULATE A MORE EFFECTIVE MARKETING STRATEGY.

Telephone : 053-473-2468  
Mobile : 090-4114-4018  
Home Page : [www.askad.jp](http://www.askad.jp)  
e-mail : [ask-ad@mx5.nisiq.net](mailto:ask-ad@mx5.nisiq.net)

## 制作費 1/3「アバター動画広告拡販期間」のご案内

本パンフレット内に記載しましたように、企画自体が新しく、たとえ効果を企業様に認めて頂いても、これまでにない手法に躊躇されるでしょう。しかしながら、弊社ではこれまでの既存の媒体広告や紙媒体だけでなく、新たなデジタル動画広告を、次の広告戦略の中核として、ぜひ広めていきたいと考え、御社の導入のハードルを少しでも下げられるように、以下のサービスをご提案します。

アバター動画広告の詳細は、同封のパンフをご覧ください、また、弊社サイトにて、アバター動画広告をご視聴頂いて、ご判断ください。

動画制作は多種多様、価格も数十万円から200万円程です。どれも既存のデータを編集するものがほとんどで、独自キャラによる説明動画は目新しく、単純にデータを編集した動画より、はるかに効果的であることは明白です。しかし、その動画制作には広告技術が必要で、高度なグラフィックテロップ制作にも追加費用が発生、高額な制作費になってしまいます。

**アバター動画広告を企画・シナリオ・アバター制作・編集まで 10万円で制作！**

そうした中で弊社は、アバター動画広告をご活用して頂きたく、5分までのアバター動画制作で、企画からシナリオ制作、アバター制作、編集までを、**アバター動画広告拡販期間として、1本10万円**(通常価格は33.5万円)で承ります。それ以上**10分以内まで15万円**(通常価格は41万円)となります。通常価格はアバター制作費だけで12万円ですので、5分まででしたら、それを下回る全制作費でお受けする覚悟です。

もちろん、拡販期間を終えた後でも、その後の制作に同じアバターを使われるなら、通常的全制作価格よりアバター制作費(12万円)はずっと除外します。大変恐縮ですが、弊社も赤字制作ですので、**拡販期間は、日程ではなく上限30本で終了**(1社複数動画も含め)と、させて頂きます。ぜひこの機会にご利用頂き、お声を掛けて下さることを、お待ちしております。